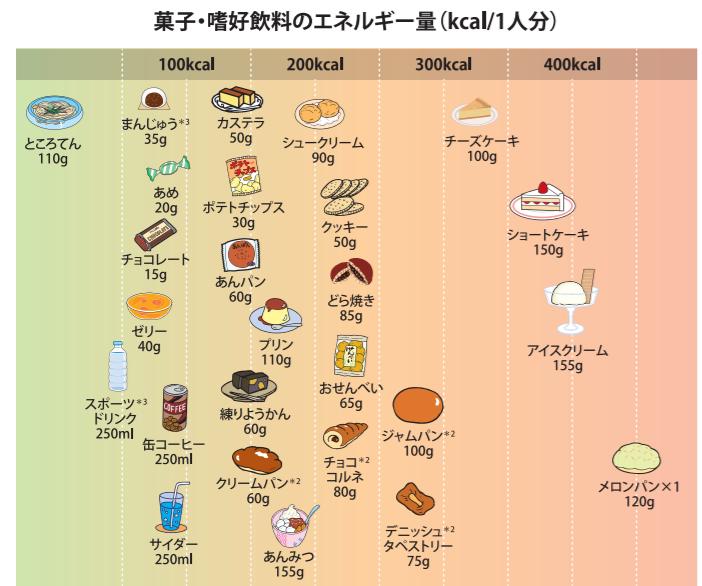
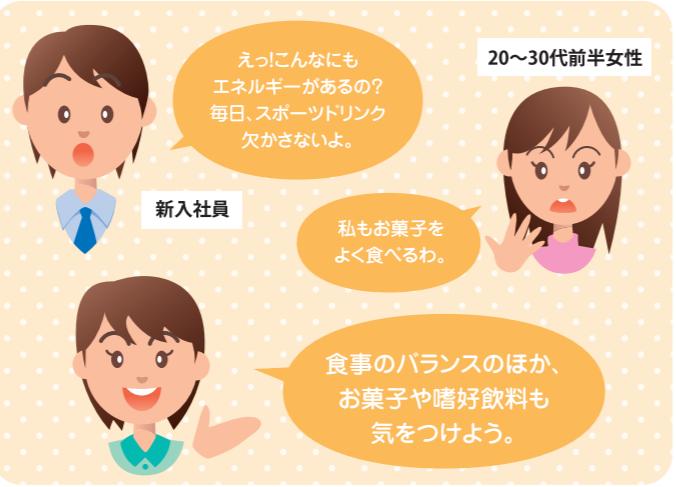


### 3 お菓子や嗜好飲料にも目を向けて!



夜食や間食を頻繁にとることにより、朝・昼・夕食といった3食との区別がつかず、食事そのものがおろそかになることもあります。また過度の飲酒も、食事リズムを乱す一因となります。

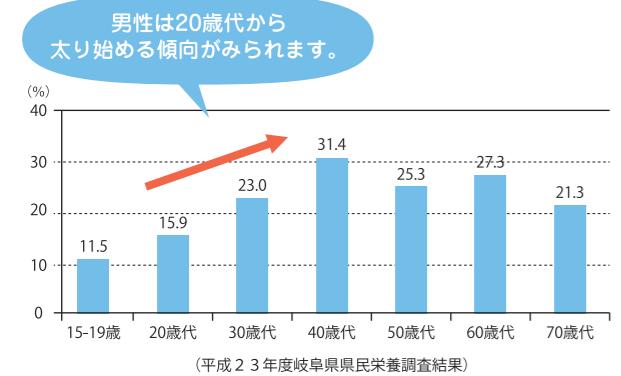


(注) \*1は、市販の3種類のパンの平均を目安量とした。 \*2は、平成17年度国民健康・栄養調査 食品番号表(厚生労働省)、\*3は、市販品を参考に、その他は足立己幸監修、針谷順子著：主食・主菜・副菜 料理成分表、群羊社(2004)のデータを基に作成(一部変更)

（出典：厚生労働省eヘルスネット）

### 4 自分の体重を気にしていますか？

定期的に体重を測定し、自分の健康状態を確認しましょう！



■現在の体重は何kgですか？

kg

■現在のBMIは？

※BMI(身長からみた体重の割合を示す体格指数。手軽に分かる肥満度の目安)  
= 体重(Kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

■標準体重 = 身長 [ ] m × 身長 [ ] m × 22 = kg

女性の20歳代では、5人に1人がやせの傾向となっています。

一日の食事のリズムから健やかな生活リズムを！

朝食でいきいきした一日を始めましょう！

お昼ごはんを賢く選ぼう！

社員食堂やコンビニの利用、お弁当づくりをアドバイス。



お菓子や嗜好飲料にも目を向けて！

休憩時間のおやつや、夜食にも目を向けましょう。

### 5 毎日をアクティブに暮らすために！

食事を減らすことだけでなく、身体活動を増やすことも大切です。

今より10分多く毎日からだを動かしてみませんか。

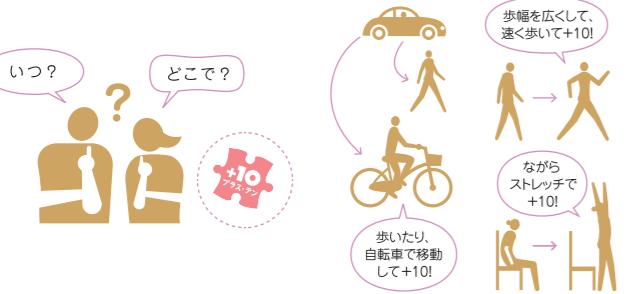
① 気づく！ → ② 始める！ → ③ 達成する！ → ④ つながる！

からだを動かす機会や環境は、身の回りにたくさんあります。それが「いつなのか？」、「どこなのか？」、ご自身の生活や環境を振り返ってみましょう。

今より少しでも長く、少しでも元気にからだを動かすことが健康への第一歩です。  
+10から始めましょう。

目標は、1日合計60分、元気にからだを動かすことです。高齢の方は、1日合計40分が目標です。これらを通じて、体力アップを目指しましょう。

一人でも多くの家族や仲間と+10を共有しましょう。一緒に行こう、楽しさや喜びが一層増します。



自分の体重を気にしていますか？

いつ体重を計りましたか？  
ベストな体重を知りましょう。

毎日をアクティブに暮らすために！

食生活の工夫とともに身体活動を増やすことも健康づくりへの近道です。



発行 岐阜県健康福祉部保健医療課

# ちから 働く力は、毎日の食事から

働き盛りのみなさんにとって、ご自身だけでなく家族の健康もとっても気になりますよね。  
家族みんながハッピーになれる秘訣を紹介します！